



ティー・ロウ・プライス における ESG

ティー・ロウ・プライスのミッションは、お客様の長期的な資産形成をお手伝いをすることです。よって環境・社会・ガバナンス（ESG）ファクターを投資判断に取り込み、投資先企業のサステナビリティを見極めることは当社の運用手法にとって重要な視点となっています。

ティー・ロウ・プライスにおける ESGの定義

「ESG」という用語は幅広い意味で利用されており、資産運用業界においても様々な解釈が生まれています。そのため、当社にとっての「ESG」とは何を意味するのか、また「ESG」にどのようにアプローチするのかを以下に明示しています。

当社は2010年に国連責任投資原則（UNPRI）に署名しており、PRIによる責任投資の定義である、「投資判断とアクティブ・オーナーシップにおいて環境・社会・ガバナンス（ESG）ファクターを組み込んだ取り組みと戦略」という責任投資の定義を採用しています。

PRIでは、ESGファクターを投資に組み込む際の主要なアプローチを、インテグレーション、スクリーニング、テーマ型投資の3つに分けています。

ティー・ロウ・プライスでは、ESG投資として以下の3つのスタイルを採用しています。

- ESGインテグレーション
- SRI運用戦略
- インパクト投資運用戦略

ESGインテグレーションの理念

当社における責任投資の基本原則：

	投資判断にESGファクターを統合する責任はアナリストとポートフォリオ・マネジャーにある
	ティー・ロウ・プライスのESGスペシャリストは、定量分析、リサーチを提供、専門家としてポートフォリオ・マネジャー、アナリストの投資判断を支援
	運用パフォーマンスに大きな影響を及ぼす可能性が最も高いESG要因に重点を置く

ティー・ロウ・プライスのESGアプローチ

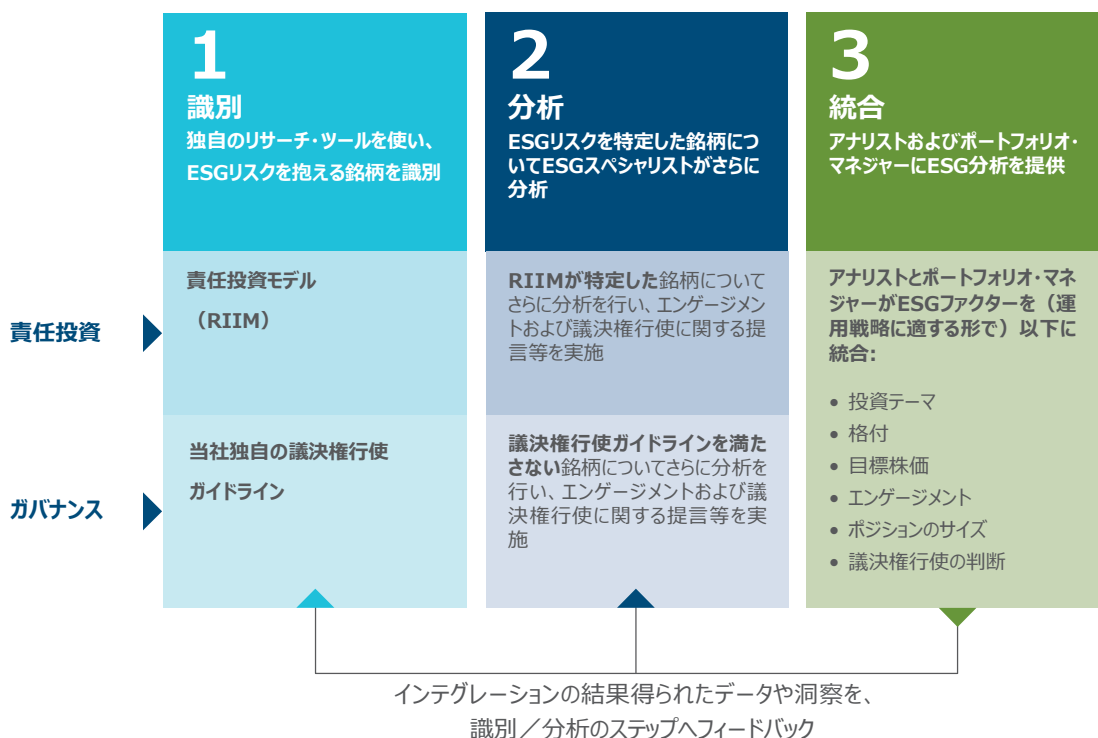
ESG インテグレーション	SRI 運用戦略	インパクト投資 運用戦略
運用パフォーマンスの最大化を目的として、環境・社会・ガバナンス（ESG）ファクターを投資分析に組み入れる。 受託者責任は最優先事項。	運用パフォーマンスに影響を与え得る場合でも、ポートフォリオに価値観をベースとする運用制限を設定。 クライアントの価値観が最優先事項、リターン目標より優先する。	投資を通じて、社会・環境面にて前向きな変化を促すことを目標とする（例：石炭企業には投資しない）。 あるいは、株主としての地位を利用し、企業／発行者の行動に影響を及ぼす（例：石炭関連資産の売却を促す）。
▲ 運用体制	▲ 運用商品	

ESGを運用プロセスに組み込む

ESGという単語は環境・社会・ガバナンスの要因を一まとめにする傾向がありますが、「環境(E)」と「社会(S)」は「ガバナンス(G)」とは異なるアプローチが必要であると考えています。コーポレート・ガバナンスの基準は十分に確立されており、一般的に多くの市場にて画一的に開示されているのに対し、環境と社会に関する開示は比較的限られています。

そのため当社では、環境と社会の要因をカバーする**責任投資(RI)**チームと**ガバナンス**をカバーするチーム、の2つのチームからなるESGの専門リソースを擁しています。この2つのチームは一体となって、投資先の長期的なパフォーマンスに重要な影響を及ぼす可能性が高いESGファクターを運用チームが識別、分析、統合するためのサポートを行います。当社のアナリストとポートフォリオ・マネジャーは、こうしたリサーチを運用プロセスへ適切に取り込み、投資判断を行います。

能動的かつシステムティックなESG統合のための3つのステップ



ESGファクターの運用プロセスへの統合は、投資アイデアが生まれた時点でリサーチの初期段階から始まり、投資が終わるまで続きます。

プロセスは以下の3つのステップを用いています。

1) 識別

環境・社会をカバーする責任投資チームとコーポレート・ガバナンス・チームは、プラスとマイナスの両方の異常値を識別するため、スクリーニングのプロセスを活用しています。コーポレート・ガバナンス・チームはスクリーニングに議決権行使基準を利用し、責任投資チームは当社独自の責任投資モデル (RIIM) を利用しています。いずれのスクリーニングも、重点を置くべき銘柄をESGスペシャリストが特定するためのツールとして機能しています。

2) 分析

ESGスペシャリストは、ステップ1で特定した銘柄をより詳細に分析します。この詳細な分析は、ESGスペシャリストが単独で実施する場合がありますが、通常は当該発行体を担当しているアナリストも参加します。分析の結果は、当社のリサーチ・プラットフォームであるリサーチ・マネジメント・システム (RMS) に掲載されます。RMSは発行体毎に業績をはじめとする全ての情報が掲載されており、ESG関連のリスク／機会についてのレポートも担当アナリストによる企業分析レポート同様に掲載されています。

3) 統合

アナリストとポートフォリオ・マネジャーは、ESGリサーチを活用して運用プロセスにESGファクターを組み込みます。その結果、アナリストが業績予想を修正したり、ポートフォリオ・マネジャーが特定の投資先のポジション・サイズを変更したりする場合があります。

責任投資モデル (RIIM)

当社の責任投資(RI)チームは、発行体およびポートフォリオの環境・社会特性について分析を行います。また、企業とのエンゲージメントもサポートします。

「E」と「S」のデータは、必ずしも企業や発行体から画一的に開示されているとは限りません。そのため、当社は独自モデルを開発し、環境・社会・倫理という3つの観点から、投資先のRI特性を体系的かつ積極的にスクリーニングしています。

責任投資モデル (RIIM) は、環境・社会・倫理ファクターをスクリーニングするための当社独自のツールです。

RIIMは投資先のRIリスクの上昇を特定します。同時に、RIに関するポジティブな特徴を有する投資先を特定することに加えて、ポートフォリオ全体のRIファクターへのエクスポージャーを管理することも可能です。

RIIMは、ティール・ロウ・プライスのシステム、企業が発行する報告書、非政府組織 (NGO)、厳選した第三者ベンダーのデータを処理し、グローバルで14,000以上の企業とソブリンの責任投資特性を評価します。





RIIM 指標		— 重要ではない	● フラグ無/低	■ フラグ中程度	▲ フラグ高
○ 環境	■ 業務		● サプライチェーン(環境)		▲ 原材料
				■ エネルギーおよび二酸化炭素の排出	
				▲ 土地利用	
			● 水利用		● 廃棄物
			● 運営		
○ 社会	● 最終製品		▲ 製品のサステナビリティ		● 製品、サービスの環境問題
	● 人的資源		▲ サプライチェーン (社会)		▲ 従業員の安全衛生
			● 実力や能力に基づいた評価・報酬体系		
	● 社会		● 社会や地域社会との関係		
□ 倫理	● 最終製品		● 製品のサステナビリティ		● 人間の健康と製品が社会に与える影響
			● 製品の質・消費者問題		
			■ ビジネス倫理		● 贈収賄・汚職
			● 贈収賄・汚職		■ ロビー活動・公共政策
			▲ 会計・税務		● 取締役会・経営陣の方針
			● 取締役会・経営陣の方針		▲ ESG責任
			▲ データやプライバシー関連のインシデント		

各発行体における環境・社会・倫理リスクやポジティブな特性を、赤、オレンジ、緑の色分けによって明示しています。

第三者のESG分析と比較したティー・ロウ・プライスの責任投資モデル（RIIM）の強み

当社のRIIMは、企業の環境・社会・倫理特性を測定し、リスク／機会が上昇している発行体を特定するように設計されているため、これらのファクターを財務・経済・業界に関する分析に組み込みやすいという利点があります。当社のアナリストとポートフォリオ・マネジャーは、伝統的なインプットに加え、こうした情報を運用プロセスに適切に組み込んでいます。

当社のRIIMには、以下のような多くの強みがあると考えています。

 <h3>適切な評価</h3>	 <h3>分析の拡大</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ■ サブセクターごとにファクターの重要度を割り当てているため、投資上の重要性と合致する ■ 「グリーンウォッシング」の影響を除外するのに役立つ ■ ESG開示の不足への対応が容易 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準的な財務分析では利用されないデータを活用し、従来の投資分析を補足する役割を果たす。以下は非伝統的なデータ分析例。 ■ ESGパフォーマンス・データ（例：事故数、炭素排出量、内部告発プログラムの強度） ■ ESG目標（例：炭素排出量の削減計画、ダイバーシティの向上など） ■ ESGインシデントと対立のデータ（例：環境規制違反に対する罰金の支払い、地域社会との対立／企業に対する反対運動など）
 <h3>正確性の向上</h3>	 <h3>適合性</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 分析の枠組みとして、RIIMはサブセクター毎の比較ベースのため、外部ベンダーよりもカバレッジが広い ■ 外部ベンダーの情報は古い可能性がある ■ 外部ベンダーは、過去に不祥事がない場合でも開示不足のため企業の評価を下げるケースがある ■ 外部ベンダーは業界内で無理にランク付けをしており、そのため上位と下位の企業にあまり差がないにもかかわらず、一部の企業が劣っていると評価されているケースがある ■ RIIMは独自モデルであるため、発行体とのESGエンゲージメントで収集した情報に基づき適宜分析内容がアップデートされる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の独自モデルはアナリストとファンド・マネジャーが実務に活用しやすいように設計されている ■ 企業の環境・社会・倫理特性の定量化を支援し、アナリストやポートフォリオ・マネジャーが従来の分析（財務、業界、マクロ経済など）においてESGファクターを組み込みやすく、また、企業の特性を他の企業と比較することにも役立つ

コーポレート・ガバナンス

議決権行使は、顧客に代わって運用者である当社が行使するスチュワードシップ責任として欠かせない、中心的な活動です。当社の議決権行使における包括的な目的は、企業とその投資家が長期的かつ持続可能な成功を収める議案を支持することです。

コーポレート・ガバナンス分析は、ESGコミッティーが毎年策定する議決権行使ガイドラインから始まります。議決権行使ガイドラインは、当社の議決権行使プロセスのベースになるだけでなく、各地域における適切なガバナンス基準に関するティール・ロウ・プライスの見解を反映しています。

議決権行使に係る最終判断は、各戦略のポートフォリオ・マネジャーが担います。ポートフォリオ・マネジャーは判断に際し、以下に列挙する社内外の様々なリソースを活用します。

- ティール・ロウ・プライスESGコミッティー
- 当社のグローバル・セクター・アナリスト
- 当社のコーポレート・ガバナンスおよび責任投資スペシャリスト
- ISS（当社が契約する外部議決権行使助言会社）

議決権行使は発行体との関係を構成する一つの要素として捉えています。

当社は発行体企業と当社との包括的な関係（エンゲージメント、投資デューデリジェンス、投資判断など）を補完するものとして議決権行使を位置付けています。

当社のエンゲージメントは運用部門が主導として行っており、独自のRIIM分析、ガバナンス・スクリーニング、アナリストのファンダメンタルズ・リサーチを通じてエンゲージメントの目的を特定します。ESGスペシャリストに加え、株式および債券部門のポートフォリオ・マネジャーやアナリストもESGエンゲージメント・ミーティングに参加します。

当社では、戦略的に参加する業界の協働イニシアチブを選択しています。当社が参加する協働イニシアチブは、市場全体における開示やビジネス慣行の改善を目標としています。世界の主要な市場において、株主の重要な権利や投資家保護の低下について常に警戒しており、直接的な啓蒙活動とガバナンスを中心に据えた投資家団体への参加を通じ、投資家が信頼できる公正で流動的かつ強靱な資本市場を維持するには、開示要件の強化と基本的な投資家保護が不可欠であることを規制当局に対して訴えてきました。

責任投資原則（PRI）

当社は、2010年に国連責任投資原則（UNPRI）に署名しました。責任投資原則の枠組みを、責任投資に関連した重要な事柄に関する世界中の投資家間の対話、企業の情報開示改善を促す効果的な手段として支持しています。

当社は署名機関として毎年PRIへ報告書を提出しています。この報告書では、責任投資へのアプローチと、環境・社会・ガバナンス（ESG）ファクターを運用プロセスに組み込む過程の進捗状況について説明しており、PRIはその評価を公表しています。

2020年のPRIアセスメント・レポートでは、7つのカテゴリーすべてで最高ランクのA+を付与されました。さらに、3年連続で当社はすべてのカテゴリーで中央値を上回っています。

PRIによるアセスメントにおけるスコアリング方法については[unpri.org](https://www.unpri.org)をご参照ください。当社の直近の透明性レポートにつきましては、PRIデータポータル（dataportal.unpri.org）をご参照ください。

メンバー:



INVEST WITH CONFIDENCE®

ティー・ロウ・プライスは、お客様に信頼していただける優れた運用商品とサービスを長期間にわたってご提供することに注力しています。

troweprice.co.jp

重要情報

当資料は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクおよびその関係会社が情報提供等の目的で作成したものを、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が翻訳したものであり、特定の運用商品を勧誘するものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料はティー・ロウ・プライスの書面による同意のない限り他に転載することはできません。

投資一任契約は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。

当社の運用戦略では時価資産残高に対し、一定の金額までを区切りとして最高1.265%（消費税10%込み）の逓減的報酬料率を適用いたします。また、運用報酬の他に、組入有価証券の売買委託手数料等の費用も発生しますが、運用内容等によって変動しますので、事前に上限額または合計額を表示できません。詳しくは契約締結前交付書面をご覧ください。

「T. ROWE PRICE, INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ、インクの商標または登録商標です。

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

電話番号 03-6758-3820（代表）

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第3043号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会/一般社団法人 投資信託協会

ティー・ロウ・プライスとESGの詳細については、
当社ウェブサイトをご覧ください。

troweprice.com/esg

T.Rowe Price®
INVEST WITH CONFIDENCE